

学校だより

小島夏祭り

〜小島小学校〜

小島小学校は、現在全校児童244名の学校で、教育目標に「粋き活き生きる小島の子」を掲げて、地域と連携しつつ教育活動に励んでいます。今回は、夏祭り復活の願いを受けて、掛斐川中の生徒が中心となって、3年前から始まった「小島夏祭り」を紹介します。



祭りは、8月20日に実施されました。当日は早朝より、PTAお父さんの会の方々の草刈に始まり、地域の中学生をはじめ、公民館や地域の方々の協力により、盆踊りのやぐら立て、出店の準備などが進められました。夕方からはオープニングセレモニーに続き、祭りのメインである

盆踊りが始まりました。中学生を中心に小学生、掛斐川VYS、地域の方々による三重、四重の踊の輪が広がり、春駒、かわさき、掛斐川音頭、炭坑節、うらじゃ音頭などを熱心に踊りました。その後のアトラクションでは、いびがわMAXによるよさこいおどりや地元中学生による南中ソーラン、掛斐川VYSによる火舞などが披露され、観客から大きな拍手が起りました。小学生も中学生の協力のもと、事前の2回の親子盆踊りの練習を行いました。中学生のきびきびした姿にあこがれを持った小学生もたくさんいました。



子どもを心豊かにたくましく育てるために、異年齢のふれあいを大切に、学校・家庭・地域が連携し、それぞれが果たすべき役割と責任をきちんと担っていく姿を、この「小島夏祭り」に見出すことができました。

地域で育てる

ボランティアの心

〜北和中学校〜

北和中学校では、地域に根ざしたボランティア活動が盛んに行われています。5月の「掛斐川本流クリーン大作戦」に、全校生徒153名の80パーセントに当たる123名の生徒が参加したことをスタートとして、ボランティアの呼びかけに意欲的に応え、自分を伸ばす機会としました。



夏休みには、大和・北方両地区の幼児園の夏祭りに、多くの生徒がボランティアとして参加しました。やまと幼児園で行われた「ちびっこカーニバル」では、夏休みのひと時、園庭で催されたゲームのお手伝いをさせていただきました。あちらこちらに全身で喜びを表す園児がいました。手を取り合い、言葉を交わして

いるうちに、いつの間にか生徒の顔もほころび、参加した充足感を表す笑顔に包まれていました。



8月15日には、北方地区で行われた「盆踊り大会」に北方地区の生徒が多数参加しました。色とりどりの浴衣を身にまとい、うちわや景品を配りながら、地域の方々と盆踊りを楽しむことができました。そのうちに誰からともなく自主的にゴミを回収する姿が見られ、1人2人と増えていきました。それこそが、地域を大切に思う心の現れです。

地域のさまざまな活動に参加することで、生徒たちは学校生活とは一味違った心持ちになることができます。それはきつと自分の中にある地域の彩りなのでしょう。一人一人の「ボランティアカード」に記される足跡は、北和の温かさを表しています。